

きそさきの

# ギカイ

VOL.120

2024

令和6年8月1日発行

木曽岬町議会だより

出張トマッピー

## 指定緊急避難場所の 浅井工業株式会社へ行って来ました



### 《経営理念》

浅井工業株式会社は、得意先、地域、従業員にとって「美しい安心の工場」を目指します。

### おもな内容

- 予算 ..... 2~3
- ここが聞きたい【一般質問】... 4~11
- 議会日誌 ..... 12
- 議員トピックス ..... 13
- 編集後記 ..... 14

(6月5日～10日間開催)

# 予算の紹介



## 低所得者支援給付金について

24,461千円

低所得者の生活支援として、新たに住民税非課税となる世帯と均等割のみ課税となる世帯に10万円を給付し、その世帯で18歳以下の子ども1人当たり5万円の給付金を支給する費用が予算に計上されました。

## 災害時用備蓄物資購入について

4,648千円

能登半島地震を受け、町備蓄物資の調達目標数の見直しを行い、必要となる備蓄物資を追加購入する費用が予算に計上されました。

- ・携帯トイレ 20,000 回分
- ・トイレットペーパー 480 ロール
- ・災害時非常食 4,000 食



携帯トイレ



災害時非常食



町議会議員

見直しを行った備蓄物資調達目標数の根拠は？

これまで、県の備蓄・調達基本方針に準じて、調達目標数は発災から2日分としていましたが、能登半島地震を受け、3日分に見直しを行いました。



町の担当者

### 令和6年能登半島地震の被害状況



家屋倒壊



輪島朝市火災跡



道路崩壊



令和6年 第2回定例会

# 主な補正

## こども園空調機器設備更新について

12,082千円

安全で安心なこども園づくりを推進するため、故障した遊戯室の空調機を更新する費用が予算に計上されました。



## 保健センター施設整備について

1,147千円

子ども・健康課の窓口を分かりやすくするための窓口のオープンカウンター整備のほか、玄関入口の電灯設備や事務所内の照明スイッチの配置変更整備等を実施する費用が予算に計上されました。



子ども・健康課の窓口

ここに  
聞きたい

# 一般質問



町ホームページ

この記事は、通告順に掲載し、質問議員本人が作成した原稿を議会広報常任委員会が編集したものです。  
なお、掲載文は紙面の都合で要約（約五〇〇文字）されており、一般質問の議事録は木曾岬町ホームページで順次ご覧いただけます。

一般質問とは、議員が議案とは関係なく町政全般にわたって町長等の考え方や意見を求めるものです。

## 7名の議員が質問

木曾岬  
チャンネル  
KISOYAMA CHANNEL



ページ数 5

2 番議席 古村 護 議員

● 木曾岬町第6次総合計画が目指す木曾岬町の今後について

ページ数 6

1 番議席 後藤紀子 議員

● 自然減に負けない人口増加への対策について

ページ数 7

5 番議席 加藤真人 議員

● 生活インフラについて  
● 地下水問題について

ページ数 8

3 番議席 鎌田鷹介 議員

● 自治体DXの推進事業について

ページ数 9

7 番議席 服部英二夫 議員

● 自主防災組織の育成について  
● 災害時における支援窓口について

ページ数 10

6 番議席 伊藤 守 議員

● 木造住宅の無料診断等について

ページ数 11

9 番議席 伊藤好博 議員

● 5 期目立候補について

### ＜議会放送に係る注意事項＞

この議会の放送（映像及び音声）は、木曾岬町議会の公式記録ではございません。

議会放送の映像、写真、音声、記事等の著作権は木曾岬町議会に帰属しますので、無断で複製・転用することはできません。



質問

「やるね！木曾岬」をキャッチフレーズに、令和6年度から10年間のまちづくりを進める第6次総合計画が策定され、新たに踏み出しました。

こうした中、人口戦略会議が全国の市区町村の若年女性人口の減少率を分析し、2050年までに三重県では県内12の市と町で、最終的に消滅する可能性がある消滅可能性自治体とした分析を発表、北勢地域では唯一木曾岬町と示されました。

基本理念に掲げる「持続可能性」、先人が築き育んできた木曾岬町を、次世代により良い姿でつないでいく取組みをより加速させていく必要があると感じますが、考えをお聞きます。

答弁

消滅可能性自治体については、全国町村会長から総務省に対して要望書が提出され、「自治体の努力だけで抜本的な改善が図れるものではなく、先ずは、国全体として抜本的な対策を講じていく必要がある、人口減少が進む中で

# 総合計画が描く町の未来は

## 人々が住み続けたくなるまちを(町長)

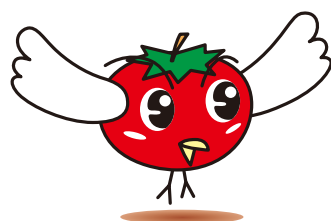


も安心して暮らすことが出来る持続可能な社会を実現すること。」が言及されています。私も同じ考えで、国・県に対して、少子化対策や地域振興策への財政支援の強化などについて訴えていきたいと考えています。

この度、令和6年度から始まる第6次総合計画を策定しました。「やるね！木曾岬」をキャッチフレーズに、3つのまちづくりポリシーを掲げ、6つの基本目標と基本目標に付随する25の施策が記載され、達成目標を確実にクリアしていくことが、「次世代により良い姿でつないでいく取組」に繋がるものと考えています。



2番議席 古村 護 議員





質問

思い切った対策をしないと人口減で町は無くなります。今後どう対策していくつもりか。

答弁

地方自治体として国に対して具体策を求め、国と地方がしっかりと連携を取って出生率を高め、社会全体で子育て世代を支えていくことが人口減少対策の第一歩であると考えています。

再質問

現在、都市公園の補助金もあるようですが、こうしたものを使って住民サービスの一環とも言える「大きな公園」を作る考えはありますか。

再答弁

町内において大きな公園を整備する予定はございません。

再質問

木曾岬町内だけで子どもを増やすというのはもう不可能に近い。他の町と人口を取り合うしかない。いかにして取

# 自然減に負けない人口対策は!?

## 社会全体で子育て世代を支えていく(町長)

再答弁

り合って、木曾岬に来てもらい子どもを産んでもらうかだと思う。どうやったら引つ張れるかを考えていただきた

木曾岬は昭和40年代の後半から60年代の前半にかけて、一気に住宅開発をし企業誘致もしました。ほとんど

が名古屋から転入してきました。そ

して旧の人口よりも

逆転して、7200人ぐらいまでいきました。

ところが、それから30年40年経ってきたときに、同じような現象が起きてくるのです。あの時代のころは現在とは逆に、朝日町や川越町は非常に厳しい時代が続いていました。今後住宅開発をということは当然ありますが、あの時代をどう検証するかだと思います。



未来を見据えた  
住宅開発をして

人を呼ば  
なきゃ!!



1番議席 後藤紀子 議員



## 町民の生活安心安全!

災害時には、愛知県に協力を求める可能性はある(町長)

質問

住民生活の安心安全を確保するため、道路・水道・下水道などのライフラインは日常生活の基盤となる。本町は水の確保は桑名側より橋を使って確保しているが、橋の水管に異常が起きた場合、水の確保が難しくなるため三重県側に依存するのではなく、愛知県側とも協力体制を考えるべきでは。また、町において水道耐震計画を策定されているがその復旧率と下水道・道路インフラに対する点検予防措置は。



答弁

町の水道は桑名市の播磨浄水場より木曽三川の送水管の二系統で送水されています。愛知県側との協力は給水区域外であるから考えていないが、災害時には、愛知県に協力を求める可能性はあります。また、水道管の耐震化率は8.7%となっており、下水道・道路インフラについては、計画に基づき進めていきます。

## 地下水に異変が!

地下水の上昇と木曽川の堆積土に因果関係はない(町長)

質問

木曽岬町において、地下水の上昇がみられます。木曽岬町は田畑に地下水をくみ上げ、産業を支えてきましたが、地盤沈下問題からくみ上げ規制が始まり、地盤沈下も落ち着きました。田畑で自噴が起きている現状があります。自噴の現象と木曽川堆積土との関係があるようにみえます。堆積の増加とともに自噴が増えていっているように思う。関係機関と連携対策、協議をされておられるのかお聞きします。

答弁

町としては関係機関と連携し、堆積土の推移や自噴の頻度及び噴出量の動向に注視していきます。



5番議席

加藤眞人 議員



質問

昨今、三重県の市町でコミニティーバスの交通系ICカードが利用できるようになってきています。当町でも通勤、通学で利用される方も多くいらっしゃるため、電車などと相互利用できる交通系ICカードが使用できることになるとだと思っており、今後導入していく考えはあるのかお聞きします。

答弁

全国を見ますと、様々な手段により公共交通バスのキャッシュレス化が進められており、当町においてもキャッシュレス化により、現金払いや車内での回数券の販売が減ること、運転手の負担軽減、バス利用者の利便性向上に一定の効果が期待できると考えています。

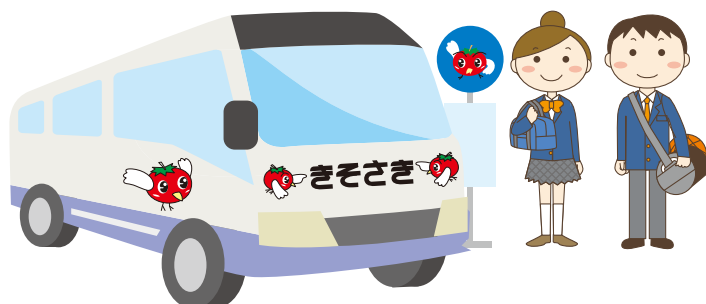
また、当町のバス利用者の多くは鉄道を利用されることから、現在、担当課において、交通系ICカードによる簡易型決済システムの研究を進めているところであり、自主運行バスの料金体系や運行形

# 交通系ICカードの今後は？

## 最適な決済システムを検討(町長)



態、キャッシュレス化のメリット・デメリット、システムの導入やランニングに要するコストなどを勘案し、地域公共交通会議の意見もいただきながら、当町に最適な決済システムの導入について検討を進め、公共交通の利便性の向上に努めて参ります。



3番議席 鎌田鷹介 議員



## 3割がノウハウ不足

### 町民の意識の高揚を図ります (町長)

質問

当町の自主防災組織は、避難所の開設や運営を想定した訓練が進んでいないのが現状です。組織として機能している所は少ないと思います。自助と公助をつなぐ役割の重要性を共有して、今後どのように育成していきますか。

答弁

大規模災害時、行政は、人命救助等の応急措置への対応が中心で、地域に入るとは困難であり、発生直後の避難所の開設・運営は、地域住民の迅速な取組が重要であると考えています。

町では、昨年3回の勉強会・避難所運営訓練を行いました。今年度も引き続き、自主防災組織を対象に計画し、地域防災力向上、住民主体の防災体制の充実を図っていきます。



## 安心な町を

これで大丈夫?

### 受援体制の充実強化します (町長)

質問

災害が発生した場合の支援窓口は、行政です。ボランティア、支援物資等支援が考えられますが、現在の職員体制で大丈夫ですか。

答弁

大規模災害発生時に、迅速かつ的確に、国・県・関係市町・防災機関等の応援を受入れるため、「木曾岬町広域受援計画」を策定しています。

受援計画に基づき、応援が必要となる業務や人数、期間、人的支援ニーズの把握を行い、県災害対策本部に職員派遣の応援要請をし、人員を確保します。これからも継続して本受援計画の見直しをしていきます。



7番議席 服部英二夫 議員





質問

① 木曾岬町で今まで何軒の人が診断を受け、何軒補強工事をされたか。

② 木曾岬町防災対策事業補助金（防災グッズ購入）の進捗状況は。

③ 家具を無料で固定するサービスを実施しています。そのことを町民にもっとアピールしては。

答弁

① 木造住宅の無料耐震診断について、令和5年度末時点で134件、耐震補強工事は1件です。

耐震化が進まない主な理由として、補強工事に多額の費用がかかることも考えられます。

② 申請件数は3件です。

③ 70歳以上の高齢者のみの世帯などの災害時要援護者を対象とした家具固定の事業に取り組んでおり、これまでに22件実施しているところです。

また、様々な媒体を活用したPRに取り組んで参ります。

# 木造住宅の無料診断を してみてもいいかがですか？

## 補助金があります（町長）

再質問

耐震補強の目的は、家が崩れてつぶされてしまうリスクを減らすことにあります。逃げる時間を稼ぐために行うものでもありません。家を守るのではなく、命を守るために行うものだとして理解すれば無駄ではない。耐震診断をして、1件の実績。その理由は、多分工事費が高いからではないかと思えます。耐震補強にいくらかかりそうですか。

再答弁

補助金が出るところで、工事費が300万円であれば国、県、町で補助金が100万円出て、個人の負担が200万円になります。



6番議席 伊藤 守 議員



質問

5期目立候補について、町長にズバリお伺いいたします。先月であったと思いますが、県町村会役員改選において引き続き副会長を引き受けたとの新聞報道がなされました。副会長職は何期かお引き受けになられたと記憶しております。その任期は2年とのことですが、来年度の町長選挙に5期目の立候補を予定しておられると受け止めてよろしいでしょうか。町長のお考えをお聞きいたします。

答弁

三重県町村会の役員の任期満了は6月4日であり、先般5月2日の町村会理事会において、役員選挙が行われました。町村会理事会は県下15町の町長全員によって構成され、会長、副会長、監査委員全員が再任され、任期は6月5日から2年間であります。来期の立候補を念頭にお引き受けしたものではありません。

今は令和6年度がスタートしたばかりでございますので、町民の皆さんの暮らしを守り、

# 町長5期目立候補!?

## 町の更なる発展につながる(町長)

人口減少、  
消滅可能性  
自治体

「やるね! 木曽岬」  
キャッチフレーズ  
いいね



9番議席 伊藤好博 議員

魅力ある明るい元気の町を目指し、任期中議員の皆さん職員と共に、木曽岬町の更なる発展の為に「一意専心」、町政の推進に全力を傾注して参る所存です。

### 3月の定例町議会において議決された令和6年度の当初予算の状況をお知らせします。 令和6年度 当初予算のポイント

- 令和6年度当初予算は、第6次総合計画に掲げる【すべての住民に優しい健康・福祉施策の充実】・【学びのまち・木曽岬】の推進・【次世代につなげる生活環境の充実】・【地域産業の持続的発展支援】・【緊急時対応への備えの充実】・【将来を見据えた行政運営の推進】の6つの基本目標を柱として編成し、「やるね! 木曽岬」をキャッチフレーズに、「小さくても明るく前向きな本町の特性を活かし、やる気のある人を応援し、もっともっと住み続けたいなるまちづくり」を推進していきます。
- 一般会計当初予算は36億6,500万円で、前年度比16.0%（5億500万円）の増となっています。
- 会計全体7会計での予算規模は60億7,401万円で、前年度比12.1%（6億5,732万円）の増となっています。

#### 会計別予算規模一覧

| 会計名  | 区分          | 令和6年度予算額   | 増減額       | 前年度比  |
|------|-------------|------------|-----------|-------|
| 一般会計 |             | 36億6,500万円 | 5億500万円   | 16.0% |
| 特別会計 | 国民健康保険特別会計  | 7億1,060万円  | ▲6,100万円  | ▲7.9% |
|      | 後期高齢者医療特別会計 | 1億9,400万円  | 3,200万円   | 19.8% |
|      | 介護保険特別会計    | 6億5,000万円  | 5,400万円   | 9.1%  |
|      | 土地取得特別会計    | 300万円      | —         | 0.0%  |
|      | 特別会計合計      | 15億5,760万円 | 2,500万円   | 1.6%  |
| 企業会計 | 下水道事業会計     | 6億1,851万円  | 1億3,551万円 | 28.1% |
|      | 水道事業会計      | 2億3,290万円  | ▲819万円    | ▲3.4% |
|      | 企業会計合計      | 8億5,141万円  | 1億2,732万円 | 17.6% |
| 合 計  |             | 60億7,401万円 | 6億5,732万円 | 12.1% |

※企業会計は、収益的支出と資本的支出の合計額を記載

#### 一般会計当初予算の推移



## 議会日誌

2024 4月

19日 ● 北勢5町議長会総会（議長）

2024 5月

7日 ● 土地開発公社監事会（監査委員）

10日 ● 町村議会議長会理事会、県施設説明会（議長）

13日 ● 例月出納検査（監査委員）

19日 ● 文化協会定期総会（議長）

21日 ● 全国町村議長、副議長研修会（議長、副議長）

22日 ● 商工会総会（議長）

26日 ● 木曾岬神社春季例祭、農上祭

27日 ● 桑名広域清掃臨時会（議長）

● 桑名・員弁広域連合臨時会（副議長）

29日 ● 四日市市正副議長来庁（議長）

30日 ● 議会運営委員会

31日 ● 青少年育成町民会議総会（議長）

2024 6月

1日 ● 小学校運動会

5日 ● 第2回定例会開会日

● 議員懇談会

● 桑名地域生活安全協会総会（議長）

10日 ● 例月出納検査（監査委員）

12日 ● 第2回定例会一般質問日

● 議員懇談会

14日 ● 第2回定例会閉会日

● 議員懇談会

● 行政視察

24日 ● 桑名広域清掃監査（議長）

28日 ● 議会広報常任委員会

2024 7月

3日 ● 議会広報常任委員会

4日 ● 木曾三川期成同盟会通常総会（議長）

10日 ● 議会広報常任委員会

## 令和5年度 木曾岬町議会政務活動費

| 項 目   | 議員名       | 後藤 紀子   | 古村 護   | 鎌田 鷹介 | 加藤 真人 | 伊藤 守 | 服部 英二夫 | 三輪 一雅 | 伊藤 好博 |
|-------|-----------|---------|--------|-------|-------|------|--------|-------|-------|
| 政務活動費 | 調査研究費     | 30,000  | 0      | —     | —     | —    | 8,000  | 0     | 5,000 |
|       | 広報広聴費     | 90,000  | 26,400 | —     | —     | —    | 0      | 0     | 0     |
|       | 資料購入費     | 0       | 0      | —     | —     | —    | 0      | 0     | 0     |
|       | 合計(交付確定額) | 120,000 | 26,400 | —     | —     | —    | 8,000  | 0     | 5,000 |

1. 政務活動費交付申請書の提出がない場合は、「—」で表記しています。

2. 政務活動費の内訳(経費項目等)

| 項目     | 内容                                                                        | 支出経費                                         |
|--------|---------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------|
| 調査研究費  | 議員が行う町の事務及び地方行財政に関する調査研究並びに調査委託に要する経費                                     | ・ 国内に限る                                      |
|        |                                                                           | ・ 公共機関の交通費                                   |
|        |                                                                           | ・ 公共機関が利用できない場合のタクシー代（路線バスがないなどの明確な理由が必要）    |
|        |                                                                           | ・ 施設入館料（観光と思われるような施設利用は認められない。）              |
| 広報、広聴費 | 議員が行う活動又は町政について住民に報告するために要する経費及び議員の活動又は町政に対する住民からの要望や意見の聴取、住民相談等の活動に要する経費 | ・ セミナー受講料（行財政に関わるもの）                         |
|        |                                                                           | ・ 町政報告及び政務活動報告などの広報誌発刊に係る経費（印刷製本費、発送代、新聞折込料） |
| 資料購入費  | 政務活動のための図書、資料の購入等に要する経費                                                   | ・ 報告会のための会場借上料、研修会への参加費（旅費は、調査研究費に準ずる。）      |
|        |                                                                           | ・ 図書全般（雑誌含む。）                                |
|        |                                                                           | ・ 有料データベース利用料（明確な政治目的が必要）                    |

# 議員トピックス

## 行政視察



様々なサイズの発電機を所有



復旧に活躍できる作業車も多数所有

令和6年6月14日(金)に木曽岬町と「災害時におけるレンタル資機材の提供に関する協定書」を締結している株式会社アクティオの物流と防災、2つの拠点となる、三重いなベテクノパーク統括工場に行ってきました。

三重いなベテクノパーク統括工場は、全国約50の工場のなかで最大敷地面積を誇る工場で、株式会社アクティオが取り扱うほぼすべての機械の整備を担う東海エリアと西日本の物流拠点となっています。愛知・岐阜・三重の東海3県において中心的な立場であることから、災害に強い拠点として優れたBCP機能をもっており、非常用電源供給など、たとえインフラ供給が停止しても工場機能が停止しない設備も兼ね備え、「安全・安心」な拠点施設となっているので、その設備や取り組みなどを拝見させていただいたものです。



能登地震の時には2日後に物資を運んだとのこと



水中ポンプは木曽岬にとって生命線となる機材

## 各議案の賛否

第2回定例会議案等の審議結果です。

### ●第2回定例会審議結果・・・全議案全会一致で可決。

審議の内容は、木曽岬町議会会議録(福祉・教育センター2階、議会図書室にて公表)でご覧いただけます。  
また、役場ホームページでも議事録を順次公開しております。



## 傍聴者の声

### ●議場が寒い。クールビズ対応をするのではないのか。

○クールビズ対応はしていますが、空調の温度調整が難しい所があります。

### ●マイクを通して大きな声で話をしてほしい。

○次回の議会にご期待ください。

### ●議案質疑がもっと活発化されるとよい。

○鋭意対応していきます。

### ●追認機関にならない。

○ありがとうございます。

定例会を傍聴して頂きありがとうございました。第2回定例会を傍聴された方は8名でした。  
毎回、定例会では傍聴アンケートをお願いし、議会運営の参考とさせていただきます。  
今後ともご理解ご協力をお願いいたします。



## みなさまのご意見を 募集しています。

議会に対して、普段、感じていること、疑問に  
思うこと。また、要望など、どのような内容でも結  
構です。ご意見、ご質問をお寄せください。

### 提 出 先

議会広報常任委員会(議会事務局)

TEL 68-6108

FAX 66-3111

E-mail: gikai@town.kisosaki.mie.jp

## 議会をぜひ、傍聴にきてください。

議会は、どなたでも傍聴することができます。皆様の生活に直結  
した重要な問題が審議されます。お気軽にお越しください。

本会議の当日、議場入口で傍聴の受付をしています。

### 次回、9月定例会、本会議の予定です。

- 9月 2日(月) 午前9時 開会、議案上程
- 9月 5日(木) 午前9時 教育民生常任委員会
- 9月 9日(月) 午前9時 総務建設常任委員会
- 9月12日(木) 午前9時 一般質問
- 9月17日(火) 午前9時 議案採決、閉会

なお、各日程等は変更する場合もございますので、お手数ですがホームページ  
または議会事務局までお問い合わせいただけますようお願いいたします。

## 編集後記

梅雨空のうつとうしい季節ですが、去る6月5日より6月14日の10日間の日程により、第2回木曽岬町議会定例会が開会され、承認1件、議案6件、報告4件、並びに発議1件の議案が慎重に審議され、可決されました。

皆様には日頃より議会活動に、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

これからも、町民の皆様  
に寄り添った議員活動に心がけて行きたいと思いたす  
ので、よろしくお願ひし  
ます。

ここに第120号の議  
会だよりをお届けします。  
紙面へのご意見・感想  
などをお待ちしております。  
議会広報常任委員会一同